



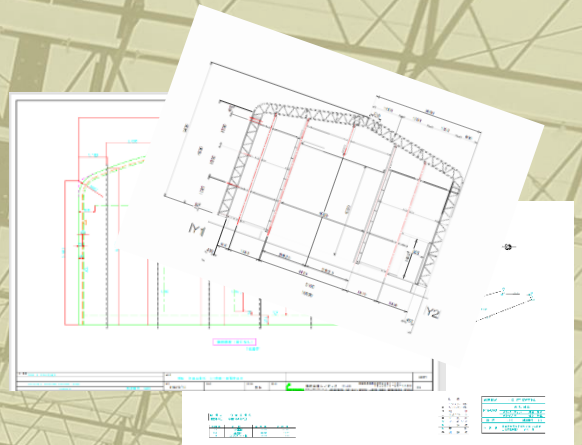
今号では当社で作成する製作図面についてお話しします。
後半では最近導入した3Dキャドについてもご紹介していきます。

そもそも製作図面とは？

図面と言いつても様々な図面があります。
今号の『製作図面』は「当社でテント倉庫の膜材と鉄骨を製作、
施工する際に使用する展開図及び部品図」と限定させていただきます。

これまでの製作図面のメリット

これまで当社はJw_cadを使用し、鉄骨、膜材
ともに平面で製作図面を作成してきました。
テント倉庫は構造が簡素であるため、製造時、
現場時の確認の際にも平面の方が理解しやす
かったためです。



平面製作図面の課題

これまでの平面のみの製作図面だと課題も色々ありました。

営業N

変形テントの場合、
お客様に完成イメー
ジを伝えづらい…

設計K

駆動系の製作図面を
作成するとき、
平面だと緩衝確認が
難しい…

新人作業員F

作っている鉄骨パー
ツがテントのどの部
分かわからない…

etc.

営業部からは特殊な形のプレゼン時の伝わりづらさ、設計部からは複雑な構造物の図面製作時、製作現場からは寸法違いなど類似した鉄骨部材の使用箇所多い場合の内容確認時に平面製作図面だと不都合が発生することがわかってまいりました。

このことから当社でも3DCADシステム導入にいたりました。